



# 道しるべ

第15号  
平成25年3月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

## 特別講演会を開催！

観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット特別講演会～インフラ長寿命化・維持管理について考える～を2月1日(金)長崎ブリックホール3階国際会議場にて開催しました。約250名の参加があり、大変盛況な特別講演会になりました。

特別講演では、道守養成ユニットで非常勤講師をしていただいている上阪氏より「ドイツのインフラ長寿命化ー最近の話題」、東北大学大学院工学研究科の久田氏より「震災後のインフラ維持管理」、財団法人海洋架橋・橋梁調査会審議役兼事務局長の西川氏より「本番を迎えたインフラの維持更新時代ー今、備えておくべき心構え」をご講演していただきました。



会場の様子



久田氏による特別講演



インフラ維持更新について語る西川氏

## 最終成果報告会を開催！

3月15日(金)長崎大学中部講堂にて、私たちの暮らしを支える地方の“道”の安全・安心～観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット最終成果報告会～をタイトルとした実施報告及び特別講演会を行いました。今年度は、道守養成ユニットの最終年度となり、通年の成果報告会とは、一味違う報告会を開催することができました。年度末のお忙しい中で約150名の方にお越しいただきました。

実施報告及び特別講演は、以下の方に行っていただきました。

### 実施報告

長崎大学	森田 千尋 准教授	観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット
道守補助員	市川 徳夫 氏	実施報告 道守補助員
道守補	馬渡 真奈美 氏	実施報告 平成24年度前期道守補養成コースを受講して
	米岡 恵介 氏	高校生の道守活動 (平成21年度～平成24年度)
特定道守	前田 穰 氏	平成24年度道守活動報告
道守	吉川 國夫 氏	観光ナガサキを支える“道守”養成ユニットを受講して

### 特別講演

岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター	村上 茂之 准教授	暮らしの安全安心と地域再生への挑戦ー社会基盤メンテナンスエキスパート養成事業について
独立行政法人土木研究所構造物メンテナンスセンター	木村 嘉富 氏	インフラ管理の現状と、多様な主体との連携
特定非営利活動法人橋守支援センター	阿部 允 氏	メンテナンスは地元の「知恵」と「やりくり」で



補助員の活動について熱く語る市川氏

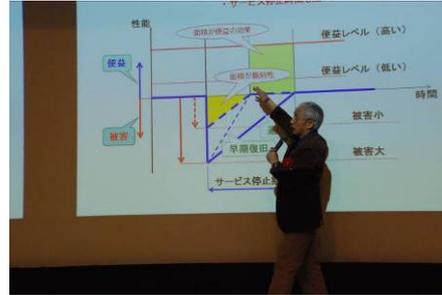


これまでの道守活動について振り返る吉川氏

実施報告の様子



アセットマネジメントについて語る村上氏



道守の講義かと思うような熱い講演をする阿部氏

特別講演の様子



懇親会でも熱い講演をする阿部氏



田村課長にご挨拶いただき全員で万歳！

懇親会の様子

## 道守シートのICT化について

道守シートの作成・通報作業の効率化、簡易化を目的として、スマートフォン、携帯電話、インターネット上で通報を行う「新道守通報システム」を構築しました。そのため、現在県内各地で説明会を行っております。

現在までに、2月28日吉岐会場、3月22日五島会場、3月29日佐世保会場で開催しました。

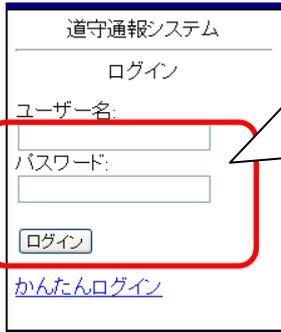
※道守シートの提出は、今まで通り、紙またはPDFの形式でも受け付けております。



説明会の様子(五島会場)

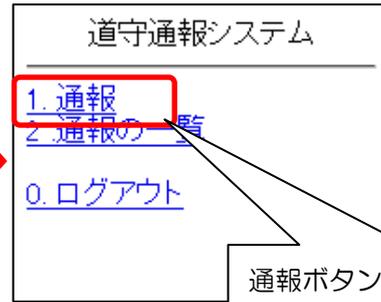
## ※システムの使用方法について※

### ① ログイン画面上的の操作



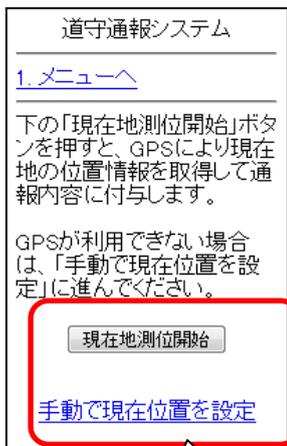
ユーザー名(証明書番号)とパスワード(生年月日 8桁)を入力しログインします。  
※8桁の生年月日は、例として1970年1月10日ならば19700110と入力します。

### ② ログイン後、システムメニュー画面が表示



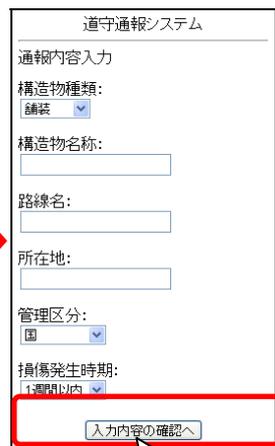
通報ボタンをクリックします。

### ③ 現在地の設定



GPSを使用し現在地を測定します。GPS機能がない場合は手動で現在地の設定をします。

### ④ 通報の詳細入力



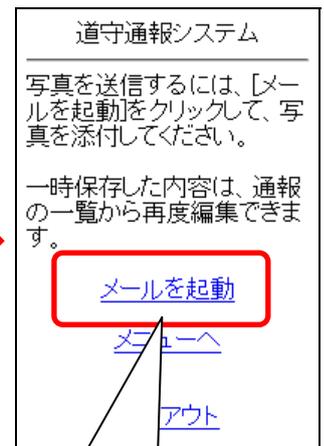
通報内容の詳細を入力し終わったら「入力内容の確認へ」を押してください。

### ⑤ 通報内容の確認



通報内容の確認が完了しましたら、「一時保存」または「通報する」を押してください。

### ⑥ 写真の送信



通報自体は通報手順 3 にて完了ですが、損傷部位写真を通報添付資料として送付可能です。

道守のHPに使用方法のマニュアルを掲載してます。使用方法等、ご不明な点がございましたら、センターまでお気軽にお問い合わせください。親切・丁寧・分かるまで説明いたします。

## 道守養成ユニットの今後について

インフラ長寿命化センター長：松田浩

道守養成ユニットの継続について長崎県と協議し、主として自治体職員を対象として“道守補”を養成し、また“道守補助員”については今後も地域住民を対象として養成していきます。また、これまで構築しました“道路構造物異常通報システム”では、紙媒体の「道守シート」を用いていましたが、前述のようにスマホやタブレットなどのICT機器から送信できる「道守通報システム」を導入しました。次年度からはペーパーレスでの通報が可能となります。このような取組を大々的に実施し、道守制度と道守通報システムを長崎から発信できますことを大いに期待しています。

インフラ長寿命化センターは産官学民連携し社会貢献・地域貢献を主活動としています。したがって、研究が主目的である未来工学センターインフラ部門との棲分けが必要で独立して運営すべきと考えています。インフラ長寿命化センターの活動面では、文科省の平成26年度概算に、「点検技術のイノベーションによるインフラ長寿命化・強靱化の実現」という課題が、学内ヒアリングで候補の一つに選定されました。採択されますように鋭意ブラッシュアップを図ります。工学部のミッションの再定義では、インフラ長寿命化の研究を筆頭に採り上げていただきますとともに、文科省から、科学研

究費の採択数が土木工学分野の「構造工学・地震工学・維持管理工学」が全国大学のトップ 10 と報じられました。また、文科省の「成長分野における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」では、岐阜大学と連携して申請する準備をしています。道守継続に向けての長崎県との交渉も続けています。いい結果となりますことを願っています。

道守事業の継続的な実施運営には、道守修了生をはじめ多くの方々のご協力とご支援がなければあり得ません。将来においても本プログラムを継続してゆくために、自立と経営の道をめざしていく所存でございます。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 道守のみちのり(11月~3月)

当センターの主な活動内容を紹介します。

12/11/20~27	五島振興局管内の橋梁・防災点検。
12/12/10~12	長崎振興局管内の防災点検。
12/12/23	道守ボランティア活動。
13/01/23	長崎建設新聞に記事掲載。
13/02/01	西日本新聞に記事掲載。
13/02/01	観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット 特別講演会 開催。
13/02/05	長崎建設新聞に記事掲載。
13/02/09	建設情報新聞に記事掲載。
13/02/13	長崎建設新聞に記事掲載。
13/02/28	壱岐にて通報システムの説明会
13/03/15	最終成果報告会開催。
13/03/22	五島にて通報システムの説明会
13/03/29	佐世保にて通報システムの説明会

## 道守事務局よ一言

4月から、松永事務職員以外は、インフラ長寿命化センターを退職することになりました。今回は、全員からのメッセージを記載します。

私は4月から長崎大学大学院工学研究科の技術職員として働くことになりました。学内にはいますので、お気軽に電話、メールしてください。(出水)

道守事業の中で様々な方と出会い、多くのことを学ばせていただきました。4月以降も部署は変わりますが長崎大学内におりますので、見かけられたらお気軽にお声掛け下さい。(牧野)

今まで道守で関わった皆様には大変お世話になりました。これからも道守の活躍楽しみにしております。熊本版の道守を作るぞ！(渡部)

いつもお世話になっております。樋口です。3年間センターで働かせていただき、いろいろなことを学ぶことが出来ました。今後も長崎にいるので街などで見かけましたら声かけてください！(樋口)

インフラ長寿命化センターにおいて、今後も“道守”の窓口として、私・松永が事務局を担当いたします。どんなに些細な事でも構いませんので、お気軽に連絡下さい。地道に道守活動頑張っていきたいと思います！今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(松永)

## 問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: [michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp) URL: <http://michimori.net/> (道守新 HP アドレス)



戦略推進費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術戦略推進費で運営しています。